

※記載例を参照の上、ご記入ください。

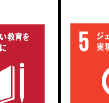
（様式第3号）

企業・団体名（ 公立大学法人長野県立大学 ）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット） 関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本（必須）			・学内規程に人権問題の啓発に関する事項を盛り込んでいる。 ・差別しない体制を構築し、経営層が積極的に取り組んでいる。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本（必須）			・ハラスメントの防止等に関する規程を定め、相談員を設置している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本（必須）			・長時間労働の防止について啓発するとともに、過重労働による健康障害の防止対策のための健康相談実施要領を策定し、長時間労働者に対する産業医による健康相談を実施している。								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本（必須）			・外国籍教員に関する相談対応のため、英語での意思疎通が可能な職員を複数人配置している。 ・外国人研修生受け入れに際して、対等な立場で受け入れることを確認している。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本（必須）			・労働安全衛生講習を実施するほか、教職員の健康障害防止及び健康保持増進を図るための対策（産業医による面談、健康診断受診及び勧奨等）に取り組んでいる。			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本（必須）			・メンタルヘルスに関する職場の理解を促進するための研修を実施しているほか、メンタルヘルスに対応した休職規程等を整備している。 ・教職員向けのメンタルヘルスマニュアルを策定している。			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本（必須）			・教員採用において女性・若年層に着目した採用を行うなど、女性が十分に活躍できる環境を整備している。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本（必須）			・職務や役割、キャリアデザインに応じた研修受講の機会を提供している。（公立大学協会主催研修等） ・教職員の能力を高めるための研修を企画している。				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本（必須）			・パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備・対応を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ（任意）			・人間ドック・定期健康診断の受診勧奨を行っているほか、診断で要再検・要精検となった者に再検査等の勧奨を定期的に行っている。			3					8									
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本（必須）			・学内で発生する廃棄物について、適切に分別している。 ・学生寮でのごみの分別の徹底を随時啓発している。											11.6	12		14.1			
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本（必須）			・学内の電気使用量の見える化に取り組み、リアルタイムに表示している。							7.3						13				
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本（必須）			・長野県内の水力発電由来のCO2フリー電力を100％調達している。 ・サステナブル建築物等先導事業に採択された省CO2技術を導入したキャンパスにより、温室効果ガスの抑制に継続して取り組んでいる。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本（必須）			・有害化学物質の取扱いも含めた実験室・実習室における安全の手引きを作成している。			3.9			6.3					11.6	12.4					

項目 番号	カテ ゴリ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																								
15	環 境	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)			・ 環境に配慮した材、製品、サービスの提供を通じて生物多様性保全に配慮している ・ 県産材・既存樹木の活用による地域内循環を意識したキャンパス設計を行っている。						6.6								15				
16		【３Ｒの推進】 ・ リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)			・ 古本の寄付を通じた寄付金制度(長野県立大学古本募金)の導入により、不要となった書籍のリユースを推奨している。・ 会議・授業等での紙配布を減らし、デジタルデータ(PDF)を基本としている。										13		14.1						
17		【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・ 節水型トイレを導入している。						6.4 6.6												
18		【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)		【予定】	環境マネジメントシステム規格の取得に向けて検討を行っている。				3.9			6	7				12	13.3	14	15			
19		【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)			・ 環境方針を定め、大学ホームページで開示している。 ・ キャンパスの消費電気量、発電量等をリアルタイムに表示している。												12.6						
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・ 長野県内の水力発電由来のCO2フリー電力を100％調達している。 ・ 太陽光パネルの設置、地中熱利用等、信州の気候・風土を活かした環境負荷低減に取り組んでいる。							7.2						13					
21		【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・ 学内で使用する紙は再生紙としている。													12.2	13	14	15		
22	公 正 な 事 業 慣 行	【汚職・贈収賄防止】 ・ 汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			・ 「研究活動上の不正行為の防止及び対応に関する規程」「懲戒処分等に関する要綱」等を整備し、周知している。 ・ 「組織理念」と「行動指針」を共有し、コンプライアンスの徹底を図っている。																16 16.5		
23		【公正な競争】 ・ 不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			・ 契約に関する規程に規定し、不正競争行為に関与しないよう徹底している。																16		
24		【知的財産保護】 ・ 知的財産の保護に取り組んでいる	基本 (必須)			・ 学術研究の成果を正しく活用するため、知的財産規程を整備し、知的財産の保護に取り組んでいる。								8.2 8.3	9									
25		【個人情報保護】 ・ 個人情報を適切に管理している	基本 (必須)			・ 「個人情報の取扱及び管理に関する規程」の整備や、個人情報ファイルの管理、個人情報ファイル簿の作成、公表など、法令に基づく適正な情報管理を行っている。 ・ 個人／企業等の情報を含む書類を適切に管理し、機密情報はシュレッダーで確実に処理するとともに、電子ファイルはパスワードを設定し保護している。																16		
26		【紛争鉱物】 ・ 紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ (任意)	【非該当】		本学において鉱物を調達することはない。																16		
27		【サプライチェーン管理】 ・ サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・ 県の競争入札参加資格を有する者を活用するなど、可能な範囲で調達時に環境配慮を確認している。						5			8		10		12	13	14	15	16	17
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5. 9. 5～追加) ・ 中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト：https://www.biz-partnership.jp/	基本 (必須)		【予定】	「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表予定。				3					8	9	10						17	

項目 番号		チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 (必須)			・リスクマネジメント委員会を設置し、事象別危機管理マニュアルを策定している。			3.9									12.4					
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 (必須)			・学生に良質な教育を提供できるよう、すべての授業について「授業改善アンケート」を匿名実施し、教員にフィードバックし改善できる仕組みを整備している。 ・教員同士が授業研鑽機会を持つことを推奨している。									9								
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・授業等での紙配布を減らし、デジタルデータで提供している。							6					12	13	14	15		
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・大学において社会課題を解決する企(起)業家や地域社会のリーダーとなる人材を育成することを目標の一つとしている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 (必須)			・公開講座の開催や学びの場への教員派遣など、知の拠点としての、知の地域への提供と還元に取り組んでいる。					4				9		11	12		14	15		17
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・学生が地域の催し(例：祇園祭)等に積極的に参加し、地域の活性化に貢献している。 ・学生が地域のボランティア活動に容易に参加できるよう「サービ斯拉ーニング」制度を運用し、寮内掲示を含め積極的な参加を促している。					4						11			14	15		17
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ (任意)			・キャンパス建築において県産材を積極的に活用している。 ・海外大学訪問時等において、長野県産材・加工材を使った商品を手土産としている。								8	9		11	12	13				
36	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本 (必須)			・「組織理念」と「行動指針」を定め、職員間で共有している。 ・大学運営会議により、迅速な意思決定と統制及び情報共有を図っている。								8	9								17
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本 (必須)			・研究に関してコンプライアンス違反の告発通報制度を持っており、窓口を公開している。 ・法令違反通報窓口を設け、通報を随時受け付けている。																16	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本 (必須)			・学内・学外それぞれに窓口を設けて対応している。																16	
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本 (必須)			・地方公共団体や企業等と協定を結び、活動することで、影響等を把握し、適切に対応している。 ・学生や保証人等との適切なコミュニケーションに努めている。																16	17
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ (任意)			・リスクマネジメント委員会を組織し、事象別危機管理マニュアルを整備している。																16	
41		【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・世界的動向を的確に把握し、自らも適切な対応に取り組むとともに、講義およびセミナー、シンポジウム等を通じて、学生や地域社会に伝達している。																16	
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ (任意)			・授業中止判断基準を定め適切に運用している。 ・リスクマネジメント委員会を組織し、震災・風水害・火災・事故等の場合の対策マニュアルを策定している。									9		11		13 13.1			16	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ (任意)	【非該当】		本学は、長野県が設置者となる公立大学法人であるため。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
「SDGs・地域貢献アイデアコンペティション」「理事長裁量経費制度」など学生提案による取組の推進		学生提案によりエシカル消費やSDGsに関連する取組を促進させるための経費を計上。											11.3	12.5					
本学の特徴である「海外プログラム」（海外研修）を通じた取組の促進		全学生が参加する海外プログラムにおいて、異文化を通じて多様性や世界の問題と取組を学ぶ機会を提供。				4.7						10.6							
全国の大学でも稀なソーシャルイノベーションを促す「ソーシャルイノベーション創出センター」（CSI）の設置		CSIを通じて学生および地域社会に対して、持続可能性というSDGsキー概念と実践を浸透させていく取組を日常的に行っている。				4.4 4.7					9.5								

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、 間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定